

「土佐天空の郷」の棚田で農業体験

- 本山町は「棚田」が多く存在し、高齢化や後継者不足等多くの課題を抱える中、地域興しを図るため農家が設立した「本山町特産品ブランド化推進協議会」(以下、「協議会」という。)の協力を得ながら、食育推進会議や指導者養成講座などの食育活動を行っている。
- 2010年から協議会指導の下、地域の棚田での農作業体験を通じて、農業とそれを取り巻く環境について学ぶ教育ファームを実施し、高知大学の学生等との交流を図っている。



【取組の内容】

- 本山町の棚田の現状と素晴らしさを認識してもらうため、田んぼアートを通じた心に残る農作業体験を実施した。
- 手作業での昔ながらの農作業と農業用機械の使用を体験することで、農業の大変さや農業の機械化を学ぶ。



【取組の成果】

- 参加者は本山町の農家とふれあい、棚田の維持の大変さや農業の大切さを感じ取れる機会となった。



- 教育ファーム運営者が、大学生との意見交換を通じ、今後の運営改善のヒントを得ることができた。

